

お墓が舞台の絵本
『いのちのまつり』

数べ、ジめくるとお墓の絵が目飛び込んでくる。亀甲墓の絵だ。絵の隣には「おもしろい形をした石のお家の前で、大勢の人たちがお弁当を広げて、楽しそうにおしゃべりをしています」との文がある。これは沖繩を舞台にした絵本『いのちのまつり』の冒頭近くである。

亀甲墓の前では、サンシンを弾く人、歌う人踊る人たちがいて、大にぎわいとなる。初めて沖

縄へやってきたコウちゃんはその様子を見て、「みんなでなにしてるの?」とたずねる。島のおバアは「わたしたちにいのちをくれた、だいじな先祖さまのお墓参りさあ」と答える。今度は島のおバアが「ほうやにいのちをくれた人は誰ね?」とたずねる。コウちゃんは「お父さんとお母さん」の名前を挙げる。そして2人の会話は、その前の先祖、その前の前の先祖というふうに、

ていく。

この絵本には、生命が悠久の時の中で綿々とつながっていることが、やさしい言葉でつづられていゝる。お墓が物語の舞台として設定されているののも、生命のつながりを説明するためにうってつけの舞台だからだ。だが、数ある絵本の中でもお墓が出てくるものは、おそらくきわめて少ないと思われ。

副題になっている「ヌチヌグスージ」という言葉は、「いのちのお祝い」「いのちのお祭り」を意味する沖縄の方言だ。草場二

壽氏の方言を交えた文と、平安座資尚氏のユニークなタッチの絵が、啓蒙的な本にありがちな硬いイメージに陥らず、子供にも親しみやすいユーモラスな雰囲気を出している。折りたたまれた8枚のページを開くと、無数のご先祖さまが広がる仕掛けもあり、子供心をくすぐる工夫も施されている。

この絵本は2004年に発行されたものだが、現在35刷、累計18万7千部を数えるロングセラーである。小学校3年の道徳の副読本にも掲載されており、教育の分野でも大いに採用されている図書である。

お墓参りが、命の尊さを学ぶための場となることは、業界内でも以前よりよく言われることだが、小学生を対象にした、こうした絵本を通じて、



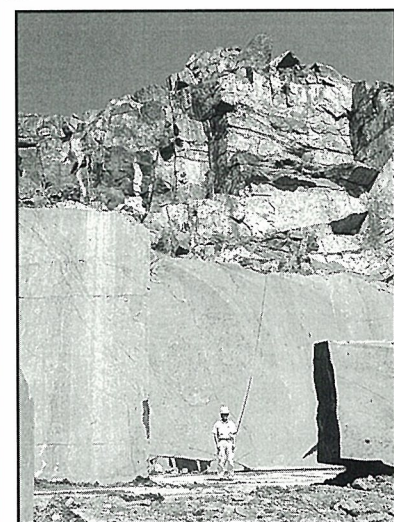
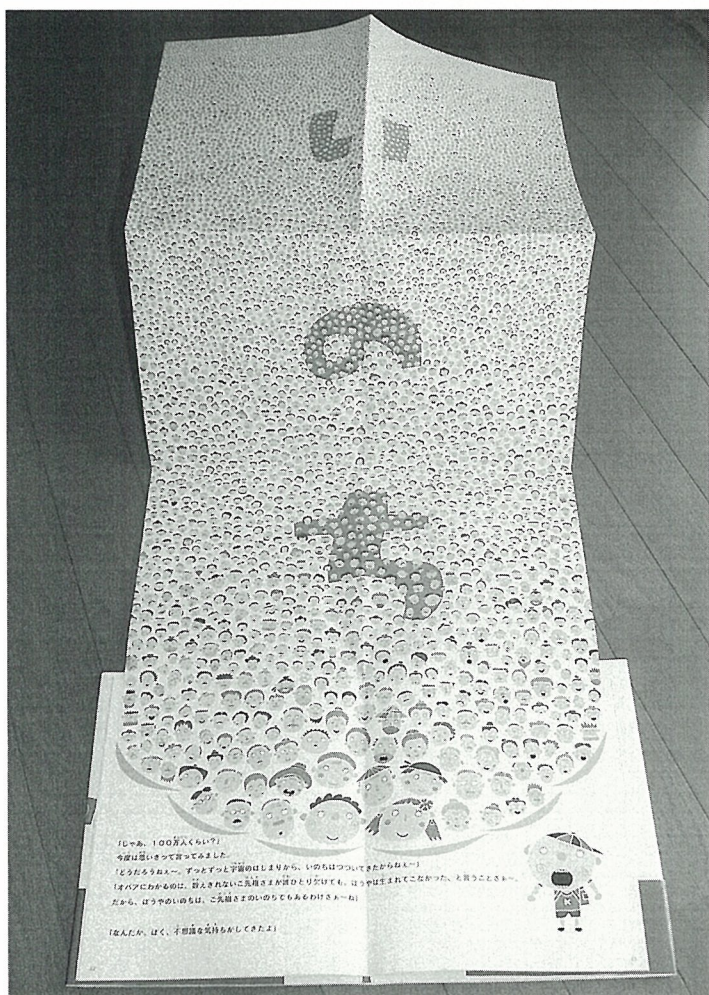
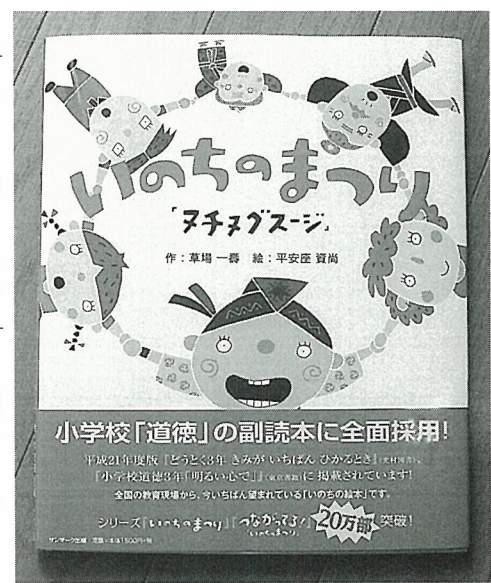
生命のつながりや先祖を敬う心が、押し付けがましくなく自然に伝わるのではないかと思われる。お墓の意義を石材業界が伝えようとするれば、どうしても手前味噌になってしまう。それだけに利害関係のない中立的な立場からこうした絵本が作られていることは、お墓づくりに関わる立場としてはありがたいものだといえるだろう。石材業界としても注目したい一冊であり、子供だけでなく大人にもぜひ手にして欲しい絵本である。

※同書は鳴本石材(株)（本社：岡山県笠岡市）の鳴本太郎常務に寄贈いただきました。紹介させて頂きました。

『いのちのまつり』
～又チヌグスージ～
草場一壽・作、平安座資尚・絵、サンマーク出版
1575円

◆草場一壽（陶彩画家）
1960年佐賀県佐賀市生まれ

◆平安座資尚（イラストレーター）
1948年沖縄県那覇市生まれ



福島県産
浮金石

イタリー製ワイヤソー導入

日本を代表する高級黒御影石
安定供給・品質維持に努めてまいります

浮金石・十万石青御影採掘加工販売
大理石模様の清流石・採掘販売

 株式会社 栄協の石

〒963-1152
福島県郡山市田村町細田字荒井186
TEL.024-955-3178 FAX.024-955-3194

伝統と品質を誇る
天下の銘石

永遠の輝き・永遠の繁栄

各種寸法原石を常備
小口配達も致します

伊予御影

石の総合商社（採掘から製品販売まで）

株式 越智久石材センター
会社

大島石特級採掘元

越智久産業

〒794-2201 愛媛県今治市宮窪町早川1077 TEL (0897) 86-2541・FAX (0897) 86-3458
採石場/TEL (0897) 86-3434

「品質とは皆様に安心と満足をお届けすることと考えています。」

我々石材業界は石を加工することをやめ、安易な方向に流れているのではないのでしょうか。
私共は石を掘り出し、最新鋭の機械の導入を図りながら国内加工することにこだわり続けます。
そして、皆様に安心と満足いただける本物の製品を提供することが仕事の基本、誇りと考えています。

福島県採石業者登録第1号
〈みちのく銘石会〉

八巻石材工業株式会社

◆国見工場／福島県伊達郡国見町大字小坂字町田2-8 TEL024(585)5315(代) FAX024(585)5431
◆東北自動車道・国見インターチェンジ料金所前

国内産高級ブランド
みちのく鋳石®

磐梯みかげ

吾妻みかげ^糖

吾妻みかげ

◎国界工場全圖